

新宿区立柏木小学校だより

かしわぎ

<http://www.shinjuku.ed.jp/es-kashiwagi/>



2月号
第223号
平成28年
1月29日発行

人が環境をつくり、環境が人をつくる

副校長 越田 邦彦

新年を迎え、瞬く間に一ヶ月が過ぎました。東京都ではインフルエンザが流行期を迎えています。学校では、教室の換気やうがい手洗いの指導に力を入れています。また、12月の保健便りでもお知らせしましたが、柏木小ホームページの上部から、毎日の感染症の状況を見られるようになっていきます。ご活用ください

さて、2学期末に学校評価アンケートを実施しました。その中で目を引いたのは、児童アンケートの結果です。「すすんで元気よくあいさつしている」という項目の良い評価が+6.4%、「誰にでも正しい言葉遣いをしている」が+9.1%、「給食当番や掃除、係の仕事を責任をもってしている」が+6.4%など、真面目に頑張っていると自己評価している児童が増えています。

そう言えば、二学期後半あたりから、給食の時間がだんだん静かになっていったのが印象的でした。と言っても、沈黙しているわけではありません。教室に入ってみると、班ごとに楽しげに談笑しながら美味しく食べています。それでも静かに感じるのは、不必要な大声や無遠慮な大笑などがいないからです。時にはおかわりじゃんけんで盛り上がることもあります。基本的には、お互いを気遣って心地よい環境をつくれるよう、ごく自然にマナーを守って食べています。これも真面目なことを頑張っている一つの例でしょう。

授業も同じ傾向にあります。教室を覗くと、全員が一心不乱にノートに向かっている、友達の発言に真剣に耳を傾けている、先生の話をしっかり聞いて必死に考えている、といった場面が多く見られます。同じ勉強をするにも、落ち着いて集中できる環境で取り組むのと、ざわざわして浮ついた雰囲気の中にいるのとでは、得られるものが違うはずです。

「人が環境をつくり、環境が人をつくる」という言葉があります。そこに集う人々が作り出す意思の統一感、空気のようなものが環境の重要な要素です。柏木小の子どもたちはよい空気をつくり出そうと頑張っています。私たち教職員も、残り二ヶ月、さらにより環境をつくれるよう努力してまいります。

2月の行事予定

1	月	全校朝会 委員会活動 安全指導
2	火	柏陽お別れ遠足
3	水	5 時間授業
4	木	
5	金	たてわり班活動(朝) 理科実験名人授業(3年)
6	土	※今月は予告なしで避難訓練を実施します。
7	日	
8	月	全校朝会 クラブ活動
9	火	新宿区学力定着度調査(2～5年) 1 年子ども園と交流授業
10	水	午前授業
11	木	建国記念の日
12	金	学校公開①
13	土	学校公開② 柏木フェスティバル 給食なし
14	日	
15	月	全校朝会 クラブ活動
16	火	新1 年保護者会/新1 年入学前プログラム
17	水	5 時間授業
18	木	音楽朝会
19	金	1 年・子ども園交流授業(4校時・給食)
20	土	
21	日	
22	月	全校朝会 クラブ活動(最終) 1 年・子ども園交流授業(4校時・給食)
23	火	6年生を送る会練習 1 年・子ども園交流授業(4校時・給食)
24	水	
25	木	6 年生を送る会(3・4校時)
26	金	掃除なし時程 6 年生を送る会(3・4校時) たてわり班活動(給食) 保護者会4・5年 3 年・子ども園交流授業
27	土	
28	日	
29	月	委員会活動

(※毎月 17 日は、給食費・教材費の引落日)

2月の生活目標
きまりを守って生活しよう

6年生を目前にして

5年担任 須賀 繭美 小林 義伸

4月からどんな6年生になりたいか、5年生に聞いてみました。

- 1年生から5年生が困っていたら、「大丈夫？」とか「どうしたの？」と声かけられるようにしたい。
- 全学年の目標になるような6年生になりたい。
- たてわり班でリーダーシップをとりたい。今より自己表現ができるようになりたい。
- 「こういう6年生になりたいな」と思われるような6年生になりたい。
- 6年生になったら勉強も難しくなると思うので、今よりもっと集中して取り組みたい。
- 早寝早起きができる、忘れ物をしない、低学年の手本になる。
- 6年生になったら、時間を守るようにしたい。
- 低学年に優しい6年生になりたい。優しくすれば見習ってくれて、何年後かに素敵な6年生になってくれるから。
- 社会の歴史をちゃんと学びたい。発言をたくさんできるようになる。
- 仕事を最後までやり遂げる6年生になりたい。
- 1年生の時に校舎内で迷っていて助けてもらったから、低学年・中学年が困っていたら助けてあげられるようにしたい。
- みんなで日光移動教室を楽しみたい。

3日坊主を続けよう！？

生活指導主任 安倍 剛史

「あることを決心してお坊さんになったのに、修行がとても厳しいので、たった3日でお坊さんをやめて元の生活に戻ってしまった」ということから、何をやっても長続きしないことを「三日坊主」と言います。でも、今日は、ちょっと見方を変えてみたいと思います。まず「自分でこれをやろうと決心したこと」が立派です。その上「決めたことを3日間もがんばって続けた。」これも立派です。悪いのは、もうやめたと言って、その後ぱったりとやめてしまうことです。嫌になったら1日休んでまた続けたらどうでしょう。3日やって1日休む。そしてまた3日続ける。これを繰り返せば、1年間に275日続けたことになります。これはすごいことです。3日続けて2日休んだら219日やったことになります。これもすごいですね。

今年度、柏木小学校の授業日数は207日です。それよりも12日多いのですから、すばらしい成果が上がります。「三日坊主」大いに結構。1日でも2日でも休んでいいから、また3日続けるとすばらしい力がつきます。毎日の習慣も最初から完璧を目指すのではなく、見方を変えて、できることから始め、無理なく続けていくことこそ大切なことかもしれません。

柏木フェスティバル

特別活動主任 伊東あゆみ

今年も、いよいよ待ちに待った柏木フェスティバルの季節がやってきます。

各学級、それぞれが自分の役割を果たそうと、一生懸命に取り組んでいます。自分たちで考え、作ったお店にお客さんが来てくれるということは、子どもたちにとってとても嬉しいことです。毎年、生き生きとした表情があちらこちらで見られます。また、自分たちのお店を出すだけでなく、他のお店に行く楽しみもあります。事前に配られるスタンプカードを見て、どのお店に行こうか楽しそうに決めています。

↓ 昨年度の柏木フェスティバルの様子



今年は初めて土曜日の開催になります。時間も短縮されますが、その分密度の濃い内容になるように、工夫して取り組んでいく予定です。ぜひ、たくさんの保護者の方々に、子どもたちの活動の様子をご覧いただけたらと思います。最高のフェスティバルにするために、ご協力お願いいたします。

図画工作の授業

図工専科 穴戸 恵吾

先日、3年生の授業で、「くぎうちとんとん」という題材に入りました。3年生にとっては初めての釘打ちです。また、工作で木を使ってつくるのも初めてです。金づちで釘を打つわけですから、けがをしないように十分な安全指導をした後、いよいよ実践です。

10センチ程度の垂木に釘を打っていきます。

「とんとん、とんとん」「ドンドン、ドンドン」

図工室中に釘を打つ音がリズムよく鳴り響きます。2時間はあっという間に過ぎ、子どもたちは物足りなさそうな表情を浮かべながら、片づけ作業に入りました。片付けが終わって、「初めて釘を打ってみてどうだった？」と聞いてみると、「一番おもしろかった。」「休み時間も続けてやりたい。」など、何ともうれしい言葉。図工の授業で教師が一番うれしい時です。

自分のつくりたいものに向かって活動している子どもたちの目はいつも輝いています。子どもたちが造形活動に楽しんで取り組む姿をいつも想像しながら、題材を選び、授業を組み立てています。

